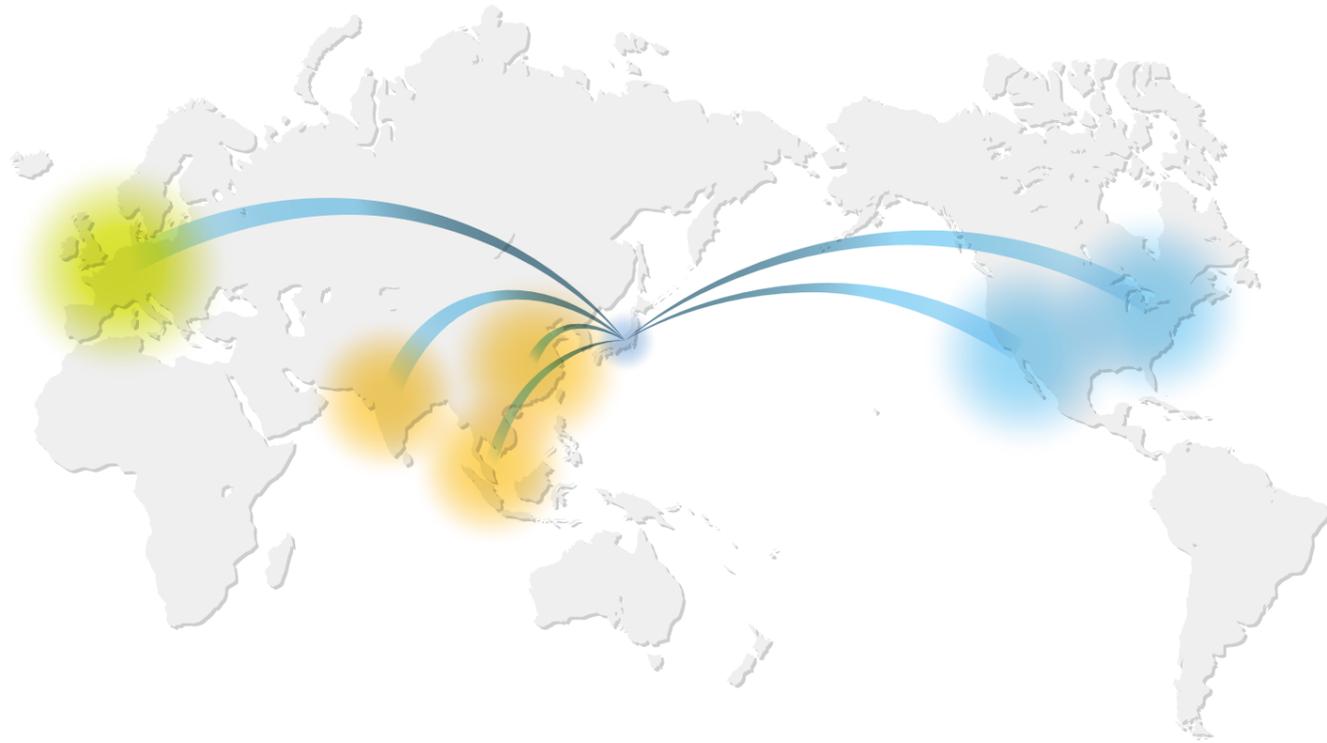


Global Locations



KANZAKI PLANT



株式会社 **ダイセル**
神崎工場

Corporate Data

商号	株式会社ダイセル
英文商号	Daicel Corporation
設立年月日	1919年9月8日
本社所在地	大阪 大阪市北区大深町3-1 (グランフロント大阪タワーB)
	東京 東京都港区港南2-18-1 (JR品川イーストビル)



大阪本社



東京本社

ダイセル コーポレートサイト
<https://www.daicel.com>



株式会社 **ダイセル**

神崎工場

〒661-0964 兵庫県尼崎市神崎町12-1
TEL : 06-6498-4531
FAX : 06-6498-4981

2021.12.000.HP





■ 事務所
 総務・安全環境・品質保証・開発・設備管理
■ 原料倉庫
■ 製品倉庫
■ コーティング室
■ 厚生棟
■ ダイセル物流株 尼崎営業所
■ 蒸留塔

敷地面積: 80,000m²



フィルムで世の中を支える

株式会社ダイセル 神崎工場は、皆さんが日常の様々な場面で目にする「フィルム」を作っています。私たちのフィルムは、お菓子、ハム、ソーセージ、チーズなどの食品、カイロやおしぼりなどの日用品を包装したり、テレビやパソコンなどの画面に用いられていたりします。

神崎工場のフィルムには、80年以上の歴史があります。1916(大正5)年の工場設立当初はセルロイド(プラスチックの一種)を作っていましたが、約15年後の1932(昭和7)年にセロハンフィルムの製造を開始しました。それ以来、私たちは素材や作り方を変えながらも、フィルムで世の中を支え続けてきました。最初のインスタントラーメンを包装していたのも、神崎工場のフィルムでした。

2010(平成22)年には「機能フィルム開発センター」を設置しました。「画面を見やすくする」「タッチペンの感触を良くする」「曲げても割れにくさと硬さを兼ね備える」など、特徴を持った「機能フィルム」の開発を進め、社会の変化に対応する製品を送り出しています。



神崎工場のおゆみ

西暦	和暦(年)	できごと	=備考
1916	大正5	大阪繊維工業(株)設立、神崎工場操業開始	
		セルロイド製造開始	
1919	大正8	セルロイド製造8社合併、大日本セルロイド(株)設立	
1932	昭和7	セロハン製造開始(～1975)	
1939	昭和14	このころ、セロハン国内シェア1位に	
1944	昭和19	政府より軍需会社指定	
1945	昭和20	第二次世界大戦終結。爆撃により被害	
1951	昭和26	防湿セロハン製造開始	=湿気を防ぐセロハン
1969	昭和44	ポリプロピレンフィルム(OPP)/PDVCコート製造開始	=湿気を防ぐなどの加工を施したフィルム
1974	昭和49	熱接着フィルム製造開始(～2013)	
1978	昭和53	写真製版用遮光性フィルム製造開始(～1997)	
1983	昭和58	ジアゾ感光性フィルム製造開始(～1997)	
2003	平成15	ポリプロピレンフィルム(OPP)の製造停止、 コーティング事業に特化	
2010	平成22	機能フィルム開発センター設立	
2013	平成25	機能フィルム製品販売開始	



Products

神崎工場の製品

Packaging Films 包装フィルム

私たちの暮らしに必要な不可欠な物を安全、安心にお届けするための包装用フィルムを提供しています。

品質を長く保つ

食べ物や日用品が湿ったり、乾いたり、酸化したりするのを防ぐフィルムです。
賞味期限、消費期限を延ばすことができます。

こんなところに

- ・お菓子(おせんべい、クッキーなど)、練り物(かまぼこなど)、油揚げ、ハム、ソーセージなど
- ・カイロ
- ・おしぼり



食品包装用フィルム



おしぼり包装用フィルム

きれいにはがれる

包んでいる食べ物を開封するとき、フィルムと中身がはがれやすいフィルムです。

こんなところに

- ・スライスチーズ
- ・かまぼこ



チーズ用離型コート



かまぼこ用離型コート

フィルム同士を接着する

熱を使って、フィルムとフィルムを重ねて接着します。あめやガムなどの包装に使われています。

こんなところに

- ・あめ、ガム、ソフトキャンディー



あめ、ソフトキャンディー等

High Performance Films 機能フィルム

物を包装するだけでなく、その物をさらに使いやすくするフィルムを作っています。
主にディスプレイ(画面)に使われています。

画面を見やすくする

反射して使っている人や背景が映り込んでしまうのを防ぎ、画面を見やすくします。

こんなところに

- ・カーナビやクルマの速度パネル
- ・スマートフォン
- ・パソコン、液晶テレビ



液晶モニター



スマートフォン



車の運転席
(スピードメーターパネルや情報ディスプレイ等)

さわり心地、書き心地を良くする

違和感ない手ざわりや、タッチペンでも鉛筆と紙のような書き心地を実現するフィルムです。

こんなところに

- ・携帯電話などの液晶保護フィルム
- ・教育用タブレット端末



さらさら触感AGフィルム



ディスプレイ保護フィルム

曲げても割れにくさと硬さを両立 ※開発中

オリジナルの特殊な材料を使い、折り曲げても割れなく硬いフィルムを開発しています。

こんなところに

- ・折りたためるスマートフォンのカバーフィルム



TOPICS KANZAKI

神崎工場の特徴

安全を守る

保安防災

工場の安全を守るため、保安防災に力を入れています。万一の場合に備え、普段から消火訓練に取り組んでおり、尼崎市防火協会主催の競技会にも出場しています。



品質を保つ

品質評価体制

現在の品質評価体制にとどまらず、新たな評価技術の確立に取り組んでいます。さらに、工場全員での日々の整理・整頓・清掃を実施することから始め、安定した品質をお届けできる体制を整えることで、お客様に安心してフィルムを使っただけできるよう努めています。



環境・社会への取り組み

社会ニーズに即応する製品開発

当社が開発しているフィルムは、様々な社会的課題の解決に貢献します。例えば、国連の「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals, 「SDGs」)」の一つに、飢えに苦しむ人々を救うため、食べ物のムダを減らすことが挙げられています。当社のフィルムは、食べ物の保存期間を延ばし、美味しさを保つことで、この目標に貢献しています。そのほかにも、社会的課題に対していち早く解決策を提案できるよう、製品開発を進めています。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

地域とともに

神崎工場は、地域の皆様とのつながりを大切にしており、小中学生の工場見学の受け入れや小学生の通学路の交通誘導などを行っています。また「化学の日 子ども化学実験ショー」に毎年出展しており、「カラフルビーズをつくろう」という企画を通じて、子どもたちに化学に親しんでいただいています。



時代の最先端を支える — 機能フィルム開発センター

社会は日々変化しています。スマートフォンやタブレット型端末など、ひと昔前には想像できなかったものが、今では生活に欠かせないものになっています。神崎工場が作っているフィルムは、最先端の技術に欠かせないものです。社会の変化にいち早く対応すべく、神崎工場は2010(平成22)年に「機能フィルム開発センター」を設置しました。企画から研究開発、製造という、モノづくりのスピードを加速させることで、社会の変化のスピードに対応し、特徴を持った「機能フィルム」をこれからも提供していきます。



機能フィルム開発センター